

萱野三平 生誕三百五十年特別展

赤穂事件と 萱野三平

5月2日(金)～7月6日(日)

四十八人目の赤穂義士と呼ばれ、
俳人としても名を残した箕面出身の萱野三平。
その生誕三百五十年を記念して、
赤穂事件と萱野三平の生き様を紹介します。



右 慶応元年中堤治判官家士四十七騎怒敵高野師直夜討之図
(歌川国芳)／赤穂大石神社蔵
下 吉良邸内外屋敷之図(瀬田又之丞)／赤穂大石神社蔵



上:萱野三平座像／萱野三平記念館(湧泉亭)蔵

箕面市立郷土資料館

開館時間 午前10時～午後5時

休館日 月曜日
(祝日の際は開館、
翌平日休館)

入館料 無料

住所 箕面市船場西3-8-22
市役所第二別館2階

TEL 072-736-9370

FAX 072-736-9410

北大市急行線・近郊バス
「箕面船場阪大前駅」より徒歩8分
オレンジリズバス(専らルート)
「船場西二丁目」より 徒歩6分



「赤穂事件と萱野三平」

歌舞伎や文楽、映画などで有名な『忠臣蔵』のモデルとなった赤穂事件とは、元禄14年(1701年)3月14日に赤穂藩主浅野内匠頭長矩が江戸城「松の廊下」で高家筆頭である吉良上野介義央に斬りかかったことが発端となった事件です。殿中での刃傷は御法度のため、幕府は浅野内匠頭に即日切腹を申し渡し、一方、吉良上野介には咎めなしとしました。この裁きが後の赤穂藩家老筆頭大石内蔵助をはじめ、赤穂義士四十七士の仇討ち(吉良邸討入り)につながります。四十七士たちは吉良上野介を討ち取り本懐を遂げた後、全員切腹となりました。

赤穂藩士であった箕面出身の萱野三平は浅野内匠頭の刃傷事件の第一報を赤穂へと伝える使者となりました。後に三平は仇討ちに加わろうとしましたが父親に反対され、主君への忠義と父への孝行の板挟みとなり、討入り前に箕面萱野の自宅で自刃しました。このことから48人目の赤穂義士とも称されています。また優れた俳句を残した著名な俳人として涓泉の名でその足跡を残しています。

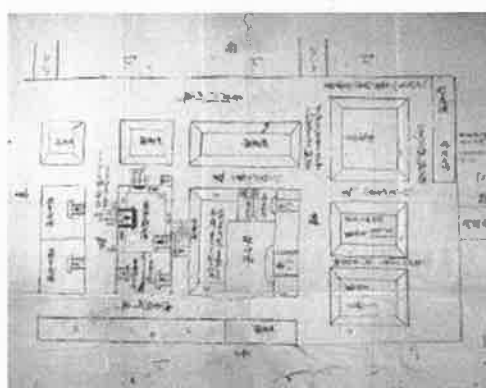
本展は萱野三平生誕350年特別展で、赤穂大石神社所蔵の史料を通じて、三平の自刃のきっかけとなった赤穂事件を解説し、俳人としての萱野三平を様々な「古文書」などからご紹介いたします。いずれも郷土資料館では初公開です。

■展示資料紹介



「蟾蜍賦」

蟾蜍(ひきがえる)を題材にした三平直筆の俳文(萱野家所蔵)



「吉良邸内外屋敷之図」

吉良邸とその周辺が描かれた絵図。



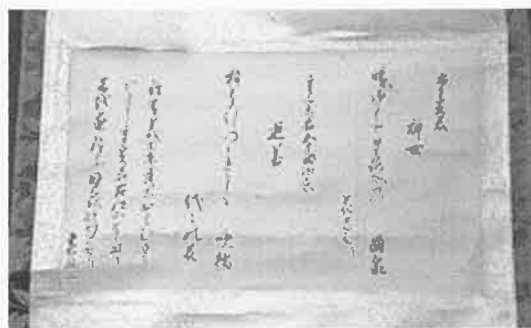
「呼子鳥笛」

大石内蔵助が討入りに使用したものとして伝わる。



「赤穂城請取行列図」

赤穂城の請取の様子を描いた絵巻。請け取った脇坂家に伝来。



「萱野三平辞世の句」
三平の五十回忌に兄の孫の萱野重好が追善詠句とともに作成し配られたもの
(吉田家所蔵)

特別講座 第一弾

「仮名手本忠臣蔵における 萱野三平(早野勘平)」

日時: 6月15日(日) 午後2時~午後3時
(入場は午後1時30分~)

講師: 古典芸能案内人 天野光氏
会場: 船場生涯学習センター5階 511・512

申込: 5月2日(金)~6月8日(月)
ロゴフォームで受付

受講料: 無料

定員: 50名(応募者多数の場合、抽選)



特別講座 第二弾

「忠臣蔵の真実 ~48人目の義士萱野三平~」

日時: 6月28日(土) 午後2時~午後3時
(入場は午後1時30分~)

講師: (一社)中央義士会理事長 柿崎輝彦氏
会場: 船場生涯学習センター5階 511・512

申込: 5月2日(金)~6月22日(日)
ロゴフォームで受付

受講料: 無料

定員: 50名(応募者多数の場合、抽選)



萱野三平旧邸は長屋門などが大阪府指定史跡に登録されており、箕面市立萱野三平記念館「涓泉亭」が併設され、一般に無料公開されています。